

孤独・孤立対策推進 シンポジウム

つながる・ひろがる・かんがえる

主催：静岡県
社会福祉法人静岡県社会福祉協議会（事業受託者）



1 会場周辺マップ



2 会場

静岡音楽館AOI7階講堂（静岡市葵区黒金町1-9）

静岡駅北口 徒歩すぐ

※会場に駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

※静岡中央郵便局と同じ建物7階です。

会場の詳細はコチラをチェック

<https://www.aoi.shizuoka-city.or.jp/>



日時 令和6年7月23日(火)
13:00～16:30（受付12:30～）

対象 市町行政職員（重層的支援体制整備事業、地域包括ケア推進、地域医療/福祉推進職員等）
狭間の課題に取り組んでいるまたは関心のあるNPOや団体、市町社協職員（CSW等）
民生委員、関心のある方

方法 集合及びZOOM・後日動画配信

会場 静岡音楽館AOI7階講堂
（静岡市葵区黒金町1-9）

申込 入場無料 要申込（定員150名）

申込7月18日（木）×切



社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

静岡市葵区駿府町1-70

notalone@shizuoka-wel.jp 054-254-5237

スケジュール

12:30

参加者受付

13:00

開会

静岡県

基調講演

「行政・民間・NPOにおける役割と連携のあり方」

13:50

休憩

14:00

パネルディスカッション

「つなげる・ひろげる・かんがえる」

質疑

16:30

閉会

後日動画配信について

※シンポジウム終了後、2週間YOUTUBEにて限定配信を予定しています。

※動画の準備が整いましたら、お申し込み時に登録いただいたメールアドレスにお知らせいたします。

パネリスト

panel 1



一社) 全国食支援活動協力会
専務理事 平野 覚治氏

「食を通じた地域の支え合い」を掲げ、子どもから高齢者まで食を通じた居場所づくり活動の支援に取り組む。昨今は民間企業から寄贈情報を一括で集約し、全国の団体にシェアする仕組みとして「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」を推進。企業・行政・NPO・団体からなる食支援プラットフォーム形成に取り組んでいる。

panel 2



鎌倉市福祉総務課
課長補佐 内藤 克子氏

自らが望むかたちで人・地域・社会とつながり、誰も孤立することなく安心して自分らしく暮らせる共生社会を目指し、鎌倉市で、人と地域がつながるプラットフォーム「ここかま」を創設。包括的支援体制構築の一環として、孤独・孤立対策につながる取組を共創する環境と仕組みを官民で整備し、社会的孤立の0次予防に資する地域づくりを進めていきたい。

panel 3



一般社団法人みらいTALK理事
小児科医 遠藤 雄策氏

発達障害や知的障害、身体障害、重症心身障害のある子や医療的ケアを必要とする子に外来訪問診療を通して関わる中で、子どもたちの防災支援事業や生活・学習支援事業にも従事し、子どもと家族、関わる人々を“つなげる”“ささえる”“しらべる”“ひろげる”事業を展開。

基調講演

元内閣官房 孤独・孤立対策担当室 政策参与
全国社会福祉協議会 会長 村木厚子氏



元厚生労働事務次官。生きづらさを抱える若年女性を支援する「若草プロジェクト」の代表呼びかけ人として「つなぐ」「まなぶ」「ひろめる」活動を実施。中央共同募金会、全国老人クラブ連合会の会長を兼務。全国居住支援法人協議会共同代表会長、日本農福連携協会理事。

コーディネーター

元 静岡県立大学 教授
立教大学 特任教授
津富 宏氏



法務官僚、社会学者（犯罪学・刑事政策・評価研究・青少年自立支援）

法務省矯正局調査係係長、浪速少年院教育部門統括専門官、矯正研修所教官、国際連合アジア極東犯罪防止研修所教官、静岡県立大学国際関係学部助教授、静岡県立大学国際関係学部教授などを歴任。